

鎌ヶ谷市政策評価表

政策の名称	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	政策担当マネージャー	市民生活部長
重点政策該当有無		マネージャー氏名	高岡 敏和

I 改革・改善内容(=政策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	福祉・環境・防犯・防災などの活動における自治会の役割が大きくなる中で、自治会の加入世帯の増加及び多様な主体間を結びつける地域づくりコーディネーターの養成を行う必要があります。 更に、市民が安心して生活を送れるよう、地域の絆を繋ぐため、市民が気軽に市民活動に参加できる環境を整備し、市民交流の活発化を促進する必要があります。	③改革・改善内容	自治会加入促進は、少子高齢化の進展等により、とても厳しい状況にあるため、自連協との協働により加入促進ハンドブックの改善・改訂や加入促進の活動を充実・強化する必要があります。 市民活動の活性化は、30年度から改正した市民活動応援補助金の利用促進や市民活動フェスタを実行委員会形式で実施するなど市民との協働を推進する必要があります。 男女共同参画は、33年度からの次期男女共同参画推進計画の策定にあたり、アンケート調査の実施など現状を把握する必要があります。
②①に基づく取り組み結果	自治会加入世帯の増加を図るため、自治会加入促進マニュアルの作成をいたしました。地域づくりコーディネーターの養成により3名を認定いたしました。また、従来の市民活動支援補助金と市民提案協働モデル事業を一体化して、市民活動応援補助金とし、協働を推進するための体制を充実いたしました。		

II 政策の目的・概要

①目的	対象	すべての市民	意図(対象をどうするのか)	地域の絆により安心して生活を送れるようにします。
②政策の概要	市民一人ひとりがまちづくりの役割を認識して、地縁で結ばれたコミュニティづくりを進めていくとともに、地域情報化や国際化を推進し、男女が均等に社会の利益を享受できるような社会づくりを進め、すべての市民が地域の絆により安心して生活を送れるようにしていきます。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	少子高齢化、人口減少という都市共通の課題の中で、都市化の進展によりコミュニティが希薄化してきており、そのような中で情報発信や男女共同参画社会づくりの重要性が増しています。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28～29年度の施策の成果	男女共同参画社会づくりのために、男女共同参画週間事業、行政企画、市民企画セミナーなどの啓発事業を実施しました。個性豊かなコミュニティづくりのために、自治会加入促進パンフレットの作成や加入促進月間を設けて周知活動を行いました。また、市民活動を活発化させるために地域づくりコーディネーターを3名認定いたしました。世界と結びつく国際化の促進のために、ワカタネとの姉妹都市交流20周年記念を契機に市長訪問団25名を招き、両市の更なる友好関係の進展を図りました。							
②施策成果指標	指標名称		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	目標値(32年度)
	1	自治会加入世帯数	世帯	29,442	29,308	29,143	28,812	29,800
	2	市民活動推進センター登録団体数	団体	125	83	87	94	105
	3	過去1年間に地域活動をした市民割合(市民意識調査)	%	61.2	-	-	-	68.0
	4	市ホームページ年間アクセス数	件	411,490	410,445	350,224	552,781	420,000
	5	まなびいネット利用件数	件	32,058	91,279	120,997	209,970	56,000
	6	男女が平等であると考える市民割合(市民意識調査)	%	20.1	-	-	-	35.0
	7	審議会等女性委員割合	%	26.3	28.0	27.2	28.3	30.0
	8	通訳ボランティア登録人数	人	13	26	23	26	30
	9	姉妹都市ワカタネを知っている人の割合(市民意識調査)	%	45.1	-	-	-	65.0
	10							
11								
③政策の事業費	平成28年度決算	平成29年度決算	市民一人あたり事業費(29年度決算)	平成30年度予算				
事業費(千円)	96,930	131,317		1.2	96,818			

IV 評価・検討

①課題	福祉・環境・防犯・防災など地域課題の解決のために、自治会の役割が増大するなかで、加入率の低下や役員不足など人材の育成が必要になります。また、市民活動においては、市民公益団体が多様な団体と交流を行い、活動を活性化することが課題となります。更に、男女共同参画の推進や国際化の推進のため、あらゆる分野で活動しやすく暮らしやすい環境整備が課題になります。		
②総合評価	3一部未達成	③総合評価の理由	施策成果指標では、市民生活を支える地域情報化の推進において、目標値を達成しているが、個性豊かなコミュニティづくり、男女共同参画社会づくり、世界と結びつく国際化の促進において、目標値を達成できていないことから、更なる、施策の充実が必要なため。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑向上	②コストの方向性	→維持
③特に重点化する施策	施策1 個性豊かなコミュニティづくり		
④上記方向性の説明	地域コミュニティ活動や市民活動が盛んに行われ、地域の絆があり、市民が自ら地域社会の中で役割を認識し、安全して暮らせる施策を推進する必要があります。		